

広域処理差し止め戦略会議

～ 震災がれきの受け入れを阻止する方法 ～

in 難波

震災がれきの広域処理と自治体の責任

— 広域処理の妥当性と住民監査請求 —

環境ジャーナリスト・青木泰さんを講師に迎え、2月から大阪で始まる震災がれきの受け入れを阻止すべく戦略会議を開催します。宮城県が北九州への広域処理の打ち切りを決定したのは、青木さんを中心とした住民運動の成果だと思えます。大阪は受け入れ前に断念させましょう！

各省庁がこれまで一般財源から予算確保をしてきた自衛隊機の購入や、原発売り込み予算、被災地外の税務署の耐震化などにまで復興予算を流用していたことが報道で明らかになっています。がれきの全国広域化も、地元での処理による雇用と復興支援という復興基本計画にもそむき、被災者の不幸にたかる悪質な政策です。

岩手県のがれきも、何度も大幅に減少され、県内処理で可能なレベルにきています。しかしこの間、静岡県、埼玉県、秋田県で受け入れが始まり、大阪市や富山県に運ばれようとしています。

国の無駄遣いを批判する橋下徹大阪市長も、がれきの広域化になぜ大阪市が賛成なのか、釈明する必要があるのではないのでしょうか。

私たちは、大阪府と大阪市が、必要性の判断や広域化そのものの実態を把握せず、がれきの受け入れを進めることに対して、住民監査請求を行います。

原告代表・下地さんの挨拶にはじまり、青木さんの講演、そして質疑応答後に、賛同者には監査請求書にサインと押印をいただきたいと思えますので、印鑑をお持ちください。

会場：難波学習センター

日時：1月17日 19:00～21:00

大阪市浪速区湊町1丁目4番1号 OCATビル4階

【TEL】06-6643-7010

【地下鉄】御堂筋線・四つ橋線・千日前線「なんば」駅下車

【JR】「JR難波」駅上

【私鉄】近鉄・阪神「大阪難波」駅、南海「難波」駅

【参加費】500円 印鑑持参（請求人希望者）

【中継】IWJ大阪 / エンパワメントTV

<講師・青木 泰さんのプロフィール>

和歌山県出身、東京都在住。

民間企業研究所に勤務しながら、長年、ごみ問題について住民運動に関わる。

早期退職後、ごみ処理に関する技術顧問として活躍するとともに、環境ジャーナリストとして一般誌、専門誌に執筆。

3.11以降は、放射性廃棄物の危険性について雑誌・新聞・講演等で情報発信している。

著書に『空気と食べ物の放射能汚染—ナウシカの世界がやってくる』ほか（リサイクル文化社）

主催：住民監査請求原告 代表 下地真樹

連絡先：震災復興プロジェクト・チーム大阪（松下）

090-9118-6998 1219nori@gmail.com

ブログ：<http://savechildosaka.blog.fc2.com/>